



社協

那加一地区だより

令和4年3月1日

No.53

編集・発行

各務原市社会福祉協議会
那加一地区



那加一地区社会福祉協議会では、12月に寝たきり高齢者と90歳以上の高齢者の方、あわせて132名に友愛訪問活動を実施し、地域の民生委員さんが中心となり、担当の方に粗品を届けて回りました。

この活動は地域の皆さまに協力をいただいた赤い羽根共同募金を財源にしており、同じ地域の高齢の方に感謝を伝える事と安心して年始を迎えてもらうことを目的として毎年この時期に行っています。

今年はコロナを予防する為にマスクとアルコール消毒、障がい者施設で作られたクッキーをお届けしました。

「コロナに負けないで
いつまでもお元気で」



生活に必要なマスクや
アルコール消毒で助かります。
(宮田さん94歳)



左腕が思うように動かないけど、
毎日30分ほど散歩して健康維持に努めています。
(浅野さん93歳)



地域包括支援センターは、地域の高齢者の相談窓口です。

那加一小学校区を担当しているのは私たち飛鳥美谷苑の職員です。
ご本人やご家族の生活上の相談などに福祉や医療の専門家が応じます。
私たちにお気軽にご相談ください。

高齢者に関する困りごと、相談は
那加西市場町7-285-1

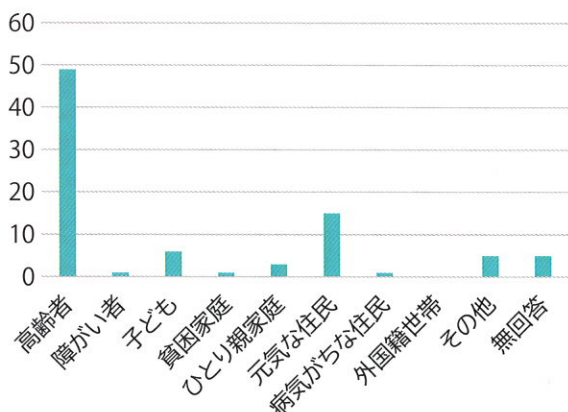
地域包括支援センター飛鳥美谷苑
☎371-3081・FAX371-3295

無料

評議員さんなどに聞きました!

地区社協は、理事以外に50名の評議員の皆さんで役員を構成しています。評議員の皆さんは各種団体の代表者さんや地域のことを良く知る人たちと考え、評議員の皆さんとその周囲の方に地域のことを尋ねました。(配布150枚 回収78枚 回収率52%)アンケートの一部を紹介します。

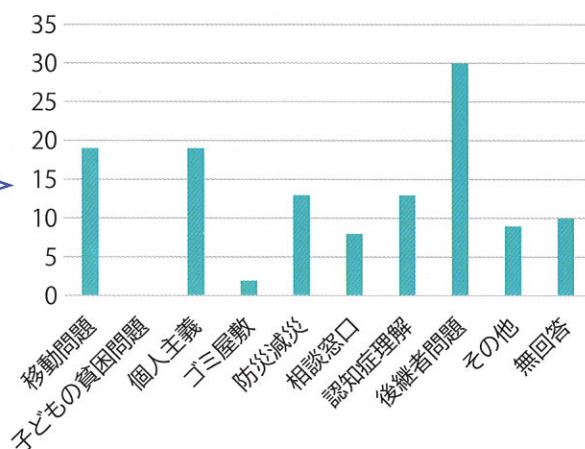
2. 日頃関わる相手



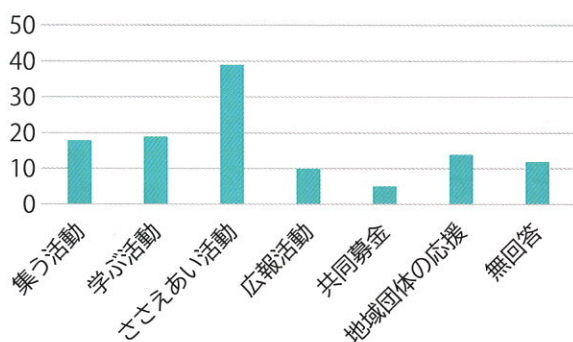
地区社協の皆さんは、近隣ケアや自治会長、民生委員などが中心である為「高齢者」に関わる方が殆どでした。
子どもや外国籍の方と関わる方の意見も取り入れたいですね。

やはり代表者の皆さんだけあって「後継者不足」を強く感じているようです。また移動問題や個人主義についても危機感を感じています。

6. この地区の課題



8. 地区社協として 取り組んだ方が良い活動



那加一地区社協が今後、取り組んだ方がよい活動は「ささえあい活動」でした。住民同士でのささえあい活動を実施していくために理事会を中心に話し合いを行っていきます。

【事業提案の一部】

- 子どもたち(特に他地区から移住された家族)に農家の人から指導を受け農業体験をしてもらい、自然の大切さを学ばせる。
- 病気やからだの不自由な方の応援
- 一人暮らしの方の支援(買い物、交通)
- 定期的にふれあいセンターで健康福祉の話などを聞く機会があればよい。
- 24時間365日切れ目のないささえあい活動を行える環境づくり。

理事会で
検討します!

